

KiKiの広場

2021年 6月 1日
cafe NO.128
KiKi



5月半ばにいきなりの梅雨入りでした。やっと気持ちのいい季節が始まったと思っていましたが、極端な気候変動に振り回されています。コロナウイルスに関しても感染が治まる気配がなく、宇部市主催のいろいろな行事や活動が中止になり自粛要請があるなど、厳しい状況が続いています。心が塞ぎこんでしまいそうな中、蕾だった紫陽花が雨粒を受けながら一気に咲き始めているのに気づき、ちょっと元気をもらいました。気持ちが落ち込んだ時は、身体に目を向けて、身体で何かを感じるといいそうです。身体を動かすことで心がほぐれたり、美しいものを見たり心地よい香りがかぐことで心が和らいだりすること。コロナ禍の中、私たちにできることは限られていますが、なるべく前を向いて歩いていきたいと思います。時には後退りすることもあるかもしれませんが、それも良しとして……。

6月の予定

休館日	8日(火)
臨時休業日	29日(火)
定休日	毎土・日・月曜日



「今日のケーキ」…「ピスタチオ&ベリー」 350円

ピスタチオペーストのクリームとベリーのシャリとした食感が楽しい、かわいらしいドーム型のケーキです。暑くなる季節にさっぱり！アイスケーキとしても美味しい！

今月のお気に入り…「6月と言えば…梅雨？父の日？時の記念日？…テーマはいっぱい！！」

～「おじさんのかさ」「みずいろのながぐつ」「ほくとおとうさん」「おまえうまそうだな」「おとうさんのちず」などなど～

おじさんのかさ

「おじさんのかさ」の作者は、「100万回生きたねこ」の佐野洋子さんです。とぼけた感じのおじさんですが、どれほど自分の傘を大事に思っているか、愛おしく可愛らしく思います。子どもたちによって傘をさす楽しさに気付いたおじさんですが、家に帰った時のおくさんの言葉、「あら、かさをさしたんですか。あめがふっているのに。」、最高です。!(^^)！



「みずいろのながぐつ」は、雨の日は嫌いで引込み思案のこうちゃんが主役です。ながぐつを取り違えられたことから、いろいろなことを経験して少しずつ変わっていくこうちゃんの様子がいじらしく、「がんばれ！」って応援したくなる絵本です。こうちゃんの心に寄り添っているような、西巻茅子さんの優しい絵に癒されます。



今月の本棚…「かえるが主役の絵本」



～「あまがえるりょこうしゃ トンボいけたんけん」「かじかびょうぶ」「かえるがみえる」「かえるの平家ものがたり」などなど～



「あまがえるりょこうしゃ」の作者は、自然観察描写の第一人者の松岡達英さんです。かえるがペットボトルで作った舟のツアーなんですけど、できることなら乗ってみたい！って思います。ツアー客は、トンボムシ、ダンゴムシ夫婦とカタツムリ。水の中の世界がリアルに描かれていて、ひっくり返って泳ぐマツモムシなど知らなかったこともたくさんありました。「かじかびょうぶ」の「かじか」とは、美しい鳴き声で鳴くと言われる「かじかがえる」のことです。栄えた家に生まれた根っからの怠け者の菊三郎が、かじかたちが住むかじかざわを売ろうとして、かじかのとうりょうに売らないように懇願されます。心を動かされたことによって、何も描いていないびょうぶが変化して、菊三郎の生き方もかえます。かじかとの出会い、そして別れ、その時の菊三郎の最後の言葉が心に響く、読み応えのある昔ばなしです。



ホッとフレイク

「気まぐれシェフのKiKiオリジナルシフォンケーキ」…「コーヒー香るほろ苦しっとりシフォンケーキ」…300円

気まぐれ…のはずだったんですが、とっても律儀に毎月新作を発表してくれている、全然気まぐれでない、真面目で優しい『気まぐれシェフ』(^^;)です。今回は、コーヒーの香りに包まれた、ほんのりした苦みが心地良い、コーヒーのシフォンケーキです。添えてあるコーヒー豆の形のチョコと一緒に楽しみください。シェフ、気まぐれでいいからね。(^^-)☆

